

診ているのは、
見えない空気です。



きれいにしよう日本の空を

日本空調サービス株式会社

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

2020年3月期 第2四半期
決算説明資料

2019年11月

東証1部・名証1部：4658

日 時： 2019年11月13日(水) 15：30～16：30

場 所： サピアタワー(東京都)

プレゼンター： 代表取締役社長田中洋二

※ 説明会開催日（2019年11月13日）時点の情報に基づく内容です。

※ 内容につきましては、ご理解いただきやすいよう当社で加筆・修正しております
ことをご了承ください。

皆様、こんにちは。

日本空調サービス(株)代表取締役社長の田中洋二でございます。

本日はお忙しい中、決算説明会にご参加いただきありがとうございます。

これより、当社の2020年3月期第2四半期の決算説明をさせていただきます。

I. 日本空調グループの概要と強み

II. 業績ハイライト

III. 2019中期5カ年経営計画

IV. 株式情報

まず、日本空調グループの概要と強みについてご説明いたします。

I. 日本空調グループの概要と強み 1/9

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

会社概要	
設立	1964年4月28日
本社	愛知県名古屋市 名東区照が丘239-2
資本金	1,139百万円
事業内容	総合建物設備 メンテナンスサービス業
従業員数	連結 3,074名 単体 2,128名
売上高	連結 463億円 単体 331億円
拠点数	国内 81拠点 海外 11拠点

※従業員数は2019年9月末現在の数値となります。
※売上高は2019年3月期の数値となります。
※拠点数は2019年4月末現在の数値(連結・住所ベース)となります。

株式情報	
株価	712円
時価総額	249億円
配当金	1株当たり25円
配当性向	50.1%
配当利回り	3.51%
株主数	5,621名
PER	14.28倍 (EPS : 49.87円)
PBR	1.46倍 (BPS : 486.83円)
ROE	10.8%

※株価及び時価総額は2019年11月8日終値を使用しております。
※配当金、配当性向及び配当利回りは2020年3月期配当予想値を使用しております。
※株主数は2019年9月末現在の数値となります。
※PERは2020年3月期予想値、PBR及びROEは2019年3月期実績値を使用しております。



診ているのは、見えない空気です。

I. 日本空調グループの概要と強み

当社（日本空調サービス(株)）が設立いたしましたのは、前回の東京オリンピックの年の4月で現在55年目になります。

従業員の数は約3,000名、売上高につきましては連結で463億円、単体で331億円でございます。

株式情報につきましては、株価は700円付近を推移しております。

時価総額が249億ということで、東証再編の議論等もあり、

私どもとしてももっと安全圏にいたいなと思っております。

配当性向は50%としておりまして、配当利回りは3.51%になります。

株主数は約5,600名です。

PERは14.28倍、PBRは1.46倍、ROEは10.8%と、東証の上場企業の平均程度ではないかと思っております。

当社の従業員数でございますが、3,000名程を推移しております。

技術系の従業員数は今年の9月で2,500名となり、少しずつ増えてきています。

この技術系の従業員ががんばっているおかげで当社の売上が成り立っているわけですので、少しずつですが優秀な技術者を増やしていきたいと思っております。

株主総利回りは、ここ数年、配当込みTOPIXより高い水準で推移しています。

全てのステークホルダーの幸せ向上



社会的価値創造

経営理念

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。



経済的価値創造

診ているのは、見えない空気です。

4

I. 日本空調グループの概要と強み

当社の現在の目標は、「**全てのステークホルダーの幸せ向上**」でございます。

「お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する」という経営理念のもと事業を行いながら、経済的価値を創造していくために日夜努力しているところでございます。

■社会的価値創造

経営理念

お客様に安心感を与える最適な環境を維持するために、
技術力と人的資源を結集させ、高品質サービスを提供する。

当社グループは、建物設備のメンテナンス・維持管理、設備・環境診断、ソリューション提案を行うサービス部門を中核に、リニューアル工事を主体とする設備工事部門を併せ持つ、建物設備のトータルサポート企業です。中核事業のメンテナンスサービスで培った技術力を生かし、お客様の立場に立ったきめ細かなサービスを提供します。

■ビジネスモデル



■事業内容(動画196sec)



PM 保守

Preventive Maintenance



確かな技術力で“万が一”を未然に防ぐ、
高品質メンテナンス。

FM 保守・管理

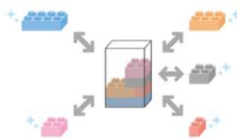
Facility Management



求められる環境を維持するために、
常に見守ることも私たちの技術。

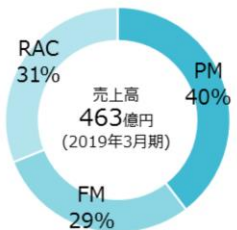
RAC 設計・施工

Reform and Construction



あらゆるビルの快適環境創造に、
いつも最適なご提案と施工を。

■事業部門別売上高構成



診ているのは、見えない空気です。

5

I. 日本空調グループの概要と強み

当社グループの事業内容について、プロモーションビデオを作成しましたのでここで動画を3分ほどご覧いただければと思います。

(会社案内動画リンク)

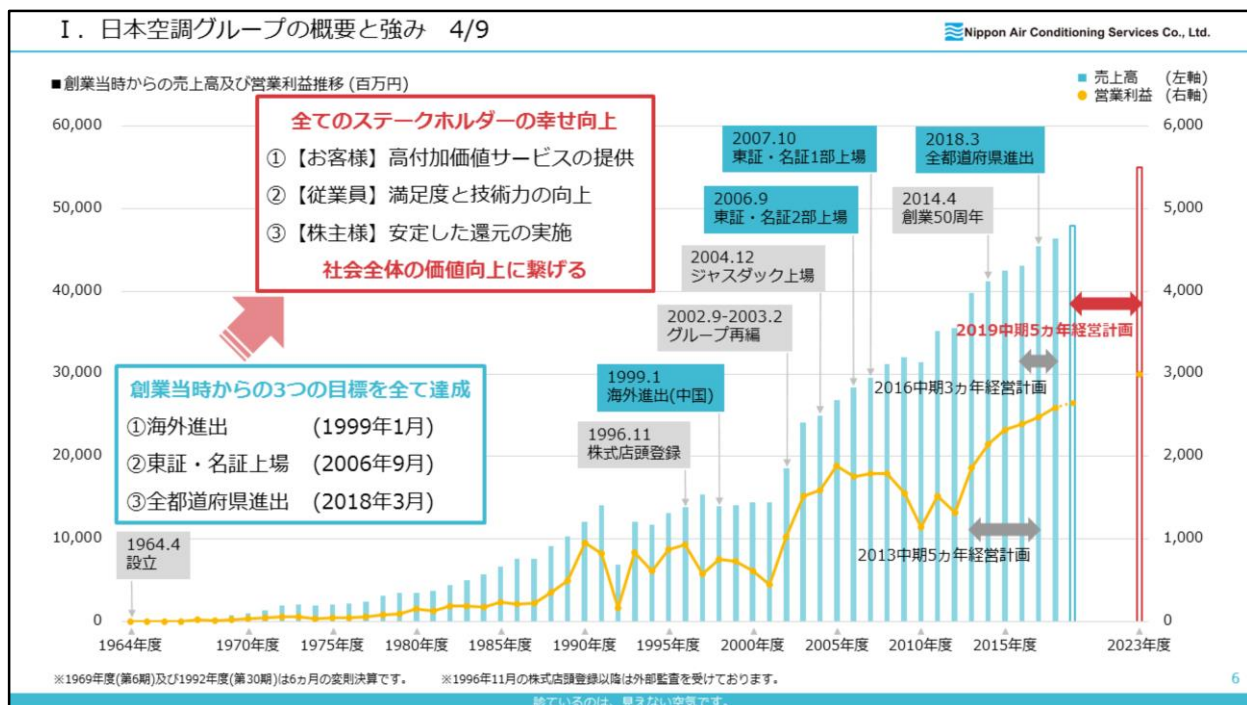
<https://www.youtube.com/watch?v=iOv4Azu87ZI&feature=youtu.be>

「PM」・・・当社の営業所からお客様への施設へ赴き、メンテナンス、保守等を行う事業です。

「FM」・・・病院等、お客様の施設に当社の社員が常駐し、設備の維持管理をする事業です。

「RAC」・・・主に「PM」「FM」から派生するリニューアル工事を行っている事業です。

売上高の構成比としては、それぞれ約1/3の割合で事業を行っております。



I. 日本空調グループの概要と強み

当社の55年の歩みでございます。

創業当時から

①海外進出 ②東証・名証上場 ③全都道府県進出

の3つを目標に会社を運営してまいりました。

昨年3月に全都道府県拠点進出をはたし、全ての目標を達成いたしました。

新たな目標として、「全てのステークホルダーの幸せ向上」を掲げ

①【お客様】に対しては **高付加価値サービスの提供**

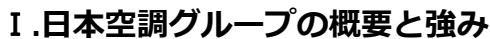
②【従業員】に対しては **満足度と技術力の向上**

③【株主様】に対しては **安定した還元の実施**

このようなことを実施しながら社会全体の価値向上につなげていき、世の中の発展に貢献していきたいと思っております。

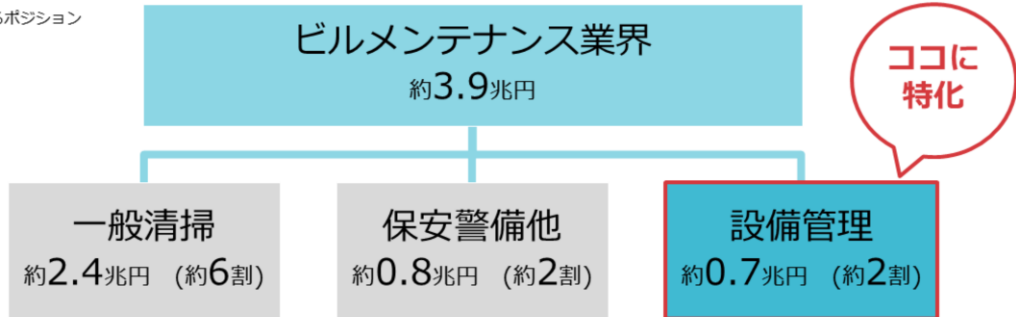
売上高としては、設立当初から多少の上下はございますが右肩上がりで進んでまいりました。

今回の中期経営計画では、終了年度（2023年度）の売上高目標を今までの伸びの延長線上になるよう設定し、現在努力しているところでございます。

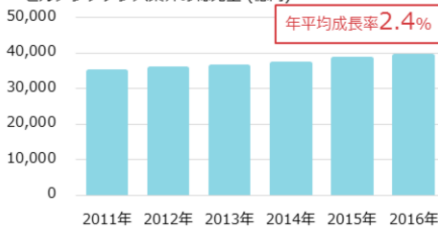
 Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

国内は子会社の整理が進み、民間営業がしっかりできる体制が整ったところでございます。

■業界におけるポジション



■ビルメンテナンス業界の総売上 (億円)



※全国ビルメンテナンス協会の「歴年の業界の総売り上げ」「歴年の実態調査の概況」の推計値を用いて算出しております。

■ビルメンテナンス業界における同業他社との比較

	時価総額	PER	PBR	ROE	売上高	営業利益	営業利益率
A社	1,909億円	17.68倍	2.61倍	8.1%	3,029億円	130億円	4.3%
B社	710億円	14.49倍	1.47倍	9.5%	979億円	63億円	6.5%
当社	249億円	14.49倍	1.46倍	10.8%	463億円	26億円	5.6%
C社	70億円	6.57倍	0.45倍	8.6%	364億円	19億円	5.5%

※各社の時価総額は2019年11月8日終値を使用しております。

※各社のPERは2019年度予想値、PBR、ROE、売上高、営業利益及び営業利益率は2018年度実績値を使用しております。

診ているのは、見えない空気です。

8

I. 日本空調グループの概要と強み

広いビルメンテナンス業界のうち、当社は設備管理という業界に位置しております。

設備管理の業界は7,000億円ほどの規模ということでございますが、実際のところはゼネコンやサブコンが行っている設備工事や機械メーカーの点検などはこのデータの中には入っておらず、それを考えますと市場としては7,000億円以上の数字はあると思います。

東証に上場しているA社、B社、C社は、当社と同じようなビルメンテナンスをしている会社でございます。

それぞれ当社と比較しますと、PER、PBR、ROEなどは良く似た数字です。

各社に負けない数字となるようがんばっております。

I. 日本空調グループの概要と強み 7/9

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

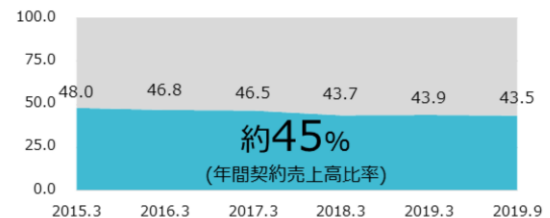
1 独立系企業グループのためメーカー問わず対応可能 様々な建物設備のメンテナンスを自社対応できる



2 売上高の半分近くが安定した年間契約

景気影響が小さい

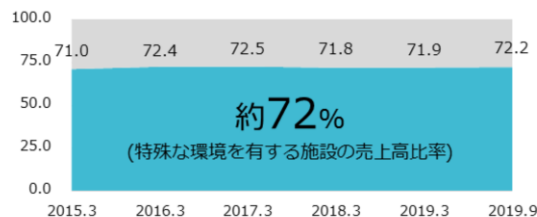
■年間契約売上高比率(%)



3 維持管理に高度な技術力を要する施設の比率が高い

参入障壁が高い

■特殊な環境を有する施設の売上高比率(%)

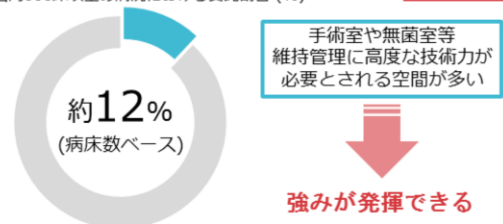


※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。

4 国内600床以上の病院におけるシェアが約12%

大規模病院が得意

■国内600床以上の病院における受託割合(%)



※600床以上の病院における当社グループの受託割合です。(当社調べ)
診ているのは、見えない空気です。

9

I. 日本空調グループの概要と強み

1. 独立系企業グループのためメーカー問わず対応可能

大きな病院・工場には様々なメーカーの機器が入っていますが、一括して対応できることが当社の強みの一つです。また、さまざまなメンテナンスについて自社で対応することが出来ます。対応が非常に早いこともお客様に評価していただいております。当社の技術者は、いろいろな機械を修理することが出来るよう技術の習得に努めております。

2. 売上高の半分近くが安定した年間契約

年間契約はゼネコンでいう受注残に相当する部分で、安定的でコアな売上であります。当社の安定性の理由の一つではないかと考えております。ここ数年で年間契約の割合は少しずつ下がっておりますが、これは工場関係の仕事が増えてきている影響です。工場関係の仕事は定期修理やスポット修理が多いため年間契約をされるお客様が少ないようです。

3. 維持管理に高度な技術力を要する施設の比率が高い

特殊な環境を有する病院や工場などは、オフィスビルに比べて設備の維持管理に高度な技術力が必要になります。付加価値の高い仕事をするのが、当社の収益力につながっていくと考えています。現在約72%の売上高比率(特殊な環境を有する施設)を少しずつ増やしていきたいと考えております。他の会社が入りにくい難しい仕事ができることは、当社の競争力の一つではないかと思ひます。

4. 国内600床以上の病院におけるシェアが約12%

国内の大病院(600床以上)におけるシェアは病床数ベースで約12%です。当社調べのため他社の割合はわかりませんが、12%はそれなりのシェアをもっていると考えております。

■特殊な環境を有する施設への傾注の理由

オフィスビル

会議室の空調機器が故障

▼
我慢してその部屋を使う
別の部屋を使う

代替可、緊急性が低い



病院

手術室の空調機器が故障

▼
手術室が使えない
手術ができない



製造工場

製造工場の空調機器が故障

▼
製品の品質不良
製造ラインの停止



⚠ 代替不可、緊急性が高い

維持管理に高度な技術力が必要となる

診ているのは、見えない空気です。

10

I. 日本空調グループの概要と強み

オフィスビルで空調機器が故障した場合、基本的にはセパレートになっているため、一つの部屋の空調機器が止まります。そのため、多少不便ではありますが、壊れた後に修理しても十分対応可能です。緊急性が低く、代替が可能です。

しかしながら、病院の手術室で空調機器が止まった場合、命に関わる可能性があります。また、製造工場におきましては空調機器が故障すると製品の品質に影響が出たり、場合によっては製造ラインを止めなくてはならないような非常に大きな影響が出てくる可能性がございます。そのため、施設の維持管理に高度な技術力が必要となってきます。

当社が得意としております病院からは、当社の安定した高い技術力を評価していただいているのだと思っております。

■メンテナンスサービス業務例と特徴

中央監視業務



日常測定業務



定期メンテナンス業務



ソリューション提案



環境診断業務



消毒・除染業務

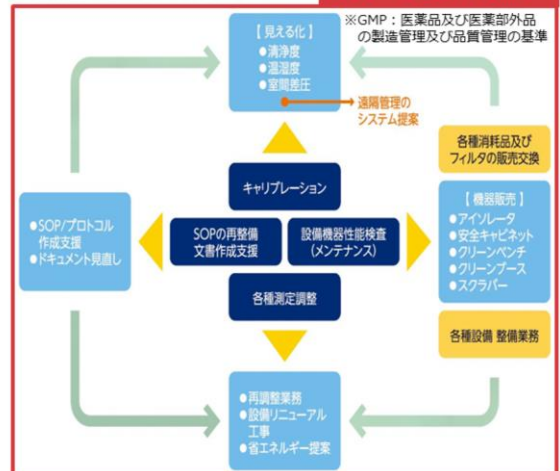


■バリデーション・トータルサポート

医薬品製造施設を**将来の主軸商品**としていくためのツール

医薬品等における製造環境の
適格性検証及び文書化の支援

GMPの国際基準準拠により
バリデーション需要拡大



診ているのは、見えない空気です。

I. 日本空調グループの概要と強み

病院での業務の一例でございます。

中央監視業務、日常測定業務、定期メンテナンス業務は、当社以外の一般の設備管理会社でも行っている病院での通常業務でございます。

他社にはない当社の強みとしては、

- ・ **ソリューション提案**・・・通常業務をする中で、省エネルギーや高効率化についてしっかり提案できる能力をもっています。
- ・ **環境診断業務**・・・現在の環境がどういう状況であるかということの分析業務です。内製化しています。
- ・ **消毒、除染業務**・・・消毒、除染についてもノウハウを持っています。

こういったことを総合的に出来る会社は多くございません。

現在、新たな目標として、医薬品等の製造工場をターゲットとしております。

GMPという薬品をつくるためのルールが国際基準に準拠したため、日本国内でもバリデーションが必要になってきました。

バリデーションのうち、機器検査いわゆるメンテナンス、各種測定調整の他、キャリブレーションや標準作業手順書の再整備、文書作成などもサポートしていきたいと考えております。

ただし、非常に高度な技術力が必要ですので、現在少しずつそういうことが出来る技術者を養成しているところでございます。

30年程前に本格的に病院の常駐管理を始めましたが、現在それが当社事業の柱になっております。

医薬品工場もまだ緒に就いたばかりですけれども、将来の病院と並ぶ大きなコア事業に出来ればと言うことで、今少しずつ増やそうとしているところでございます。

当然技術者を増やすには時間がかかりますので、5年10年かけて少しずつ進めていく必要があると思います。

長い目で見て将来の中核事業の一つになるのではないかと思います。

I. 日本空調グループの概要と強み

II. 業績ハイライト

III. 2019中期5カ年経営計画

IV. 株式情報

今回の中間の業績でございます。

Ⅱ. 連結業績ハイライト 1/7

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

■経営成績

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2018年3月期2Q			2019年3月期2Q			2020年3月期2Q		
	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率	金額	売上高 比率	前年同期比 増減率
売上高	21,230	100.0	+12.1	20,346	100.0	▲4.2	23,521	100.0	+15.6
メンテナンスサービス売上高	14,365	67.7	+1.2	14,975	73.6	+4.2	15,527	66.0	+3.7
リニューアル工事完成工事高	6,865	32.3	+44.6	5,371	26.4	▲21.8	7,993	34.0	+48.8
売上総利益	3,957	18.6	+11.8	3,934	19.3	▲0.6	4,510	19.2	+14.6
販売費及び一般管理費	2,704	12.7	+4.0	2,773	13.6	+2.6	2,886	12.3	+4.1
営業利益	1,252	5.9	+33.2	1,161	5.7	▲7.3	1,624	6.9	+39.9
経常利益	1,309	6.2	+31.5	1,234	6.1	▲5.7	1,705	7.3	+38.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	784	3.7	+33.4	804	4.0	+2.5	1,077	4.6	+34.0

■2020年3月期2Q実績について【売上高、営業利益ともに上半期過去最高】

- ①売上高：主に製造工場及び病院におけるリニューアル工事等の増加、太陽光パネル設置工事の増加、小中学校へのエアコン設置工事の増加等が寄与し増加
 ②売上総利益率：メンテナンスサービスと比較して利益率の低いリニューアル工事の売上高比率が増加したため、売上総利益率は横ばい
 (メンテナンスサービス売上総利益率：21.6%、完成工事総利益率：14.5%)
 ③販売費及び一般管理費：主に人件費の増加等により増加
 ④営業利益／経常利益：売上総利益の増加等により増加
 ⑤親会社株主に帰属する四半期純利益：営業利益の増加等により増加

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

診ているのは、見えない空気です。

13

Ⅱ.連結業績ハイライト

非常にいい数字でございました。
 メンテナンス事業は前年同期比3%程度の通常の上昇でございます。
 工事事業が前年同期比48.8%となり、50%近い伸びとなりました。

主な要因

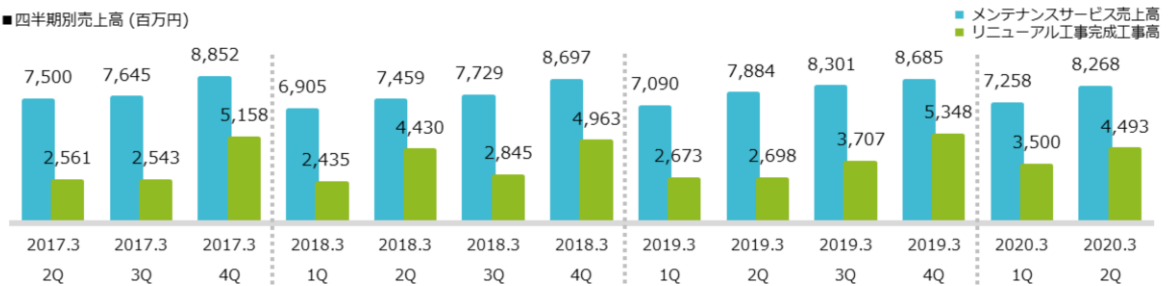
- ・消費増税前のかけ込み需要
- …病院は収入の多くが非課税ですが支出は課税のため、できるものは9月までにやってほしいというオファーがあったと聞いております。
- ・事業用太陽光定額買取終了前のかけ込み需要
- …今年で定額買取が終了するということでかけ込み需要がありました。

工事の売上高が50%近く増えた影響で、利益についても4割近い増加をしております。
 通期見込みについては、消費増税の影響が不透明なため据え置きとしています。

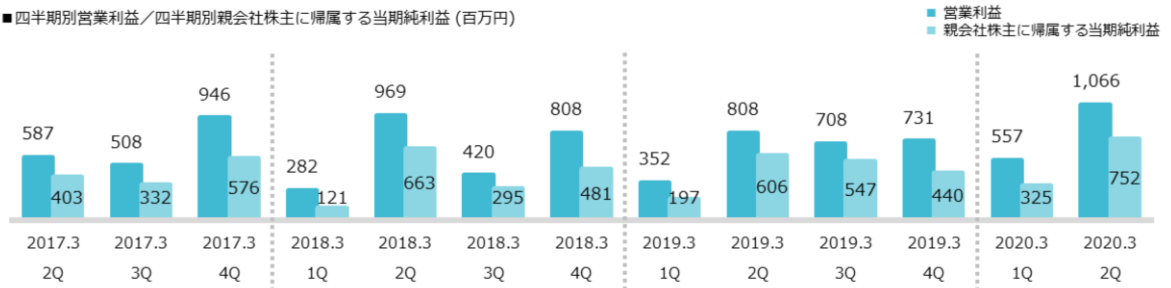
Ⅱ. 連結業績ハイライト 2/7

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

■ 四半期別売上高 (百万円)



■ 四半期別営業利益／四半期別親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

診ているのは、見えない空気です。

14

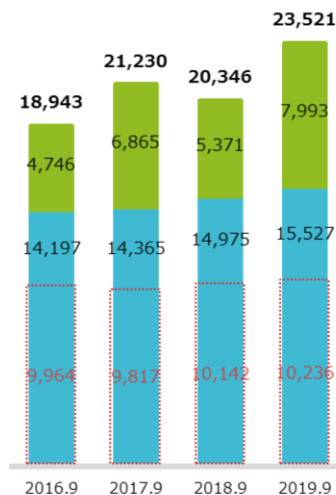
Ⅱ. 連結業績ハイライト

四半期ごとの推移でございます。

今期につきましては第1四半期、第2四半期ともに非常にいい数字でございました。

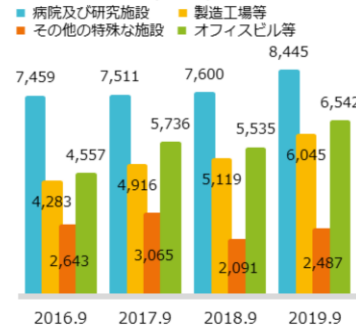
要因につきましては先ほど (P.13) ご説明させていただいたとおりでございます。

■売上高 (百万円) ■ メンテナンスサービス売上高
(点線枠内は年間契約売上高)
■ リニューアル工事完成工事高

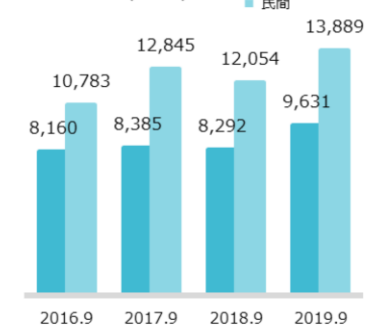


- ①病院及び研究施設、製造工場等は主にリニューアル工事及びスポットメンテナンスの好調により増加
- ②その他の特殊な施設は主に太陽光パネル設置工事の好調により増加
- ③オフィスビル等は主に小中学校へのエアコン設置工事の増加により増加
- ④官庁は主に病院及び研究施設、オフィスビル等の増加により増加
- ⑤民間は主に製造工場等、その他の特殊な施設の増加により増加

■受託施設別売上高 (百万円)



■官民別売上高 (百万円)



※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

診ているのは、見えない空気です。

15

Ⅱ. 連結業績ハイライト

売上高の内訳でございます。
年間契約につきましては、安定的に100億円程度の売上高となっております。
今回伸びているのは工事関係（黄緑部分）でございます。

受託施設別売上高では、
病院関係（水色）が伸びておりまして、また**工場**（黄色）も安定的に増えてきております。

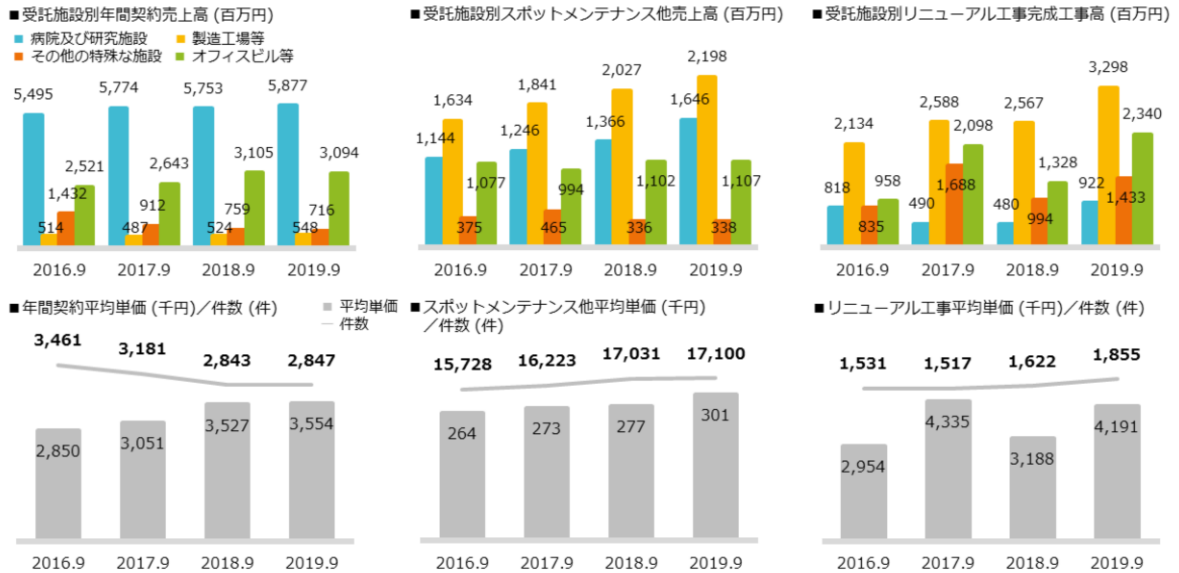
その他の特殊な施設（オレンジ）が増えている要因としては、太陽光パネル設置工事の増加が寄与しています。

それ以外の**オフィスビル等**（黄緑）につきましても順調でございます。
昨年の猛暑の影響で学校関係のエアコンの設置工事もございます売上高が伸びております。

また、官民別売上高ですと
官庁関係が伸びているのは、学校関係のエアコン設置工事等が影響しています。

Ⅱ. 連結業績ハイライト 4/7

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.



16

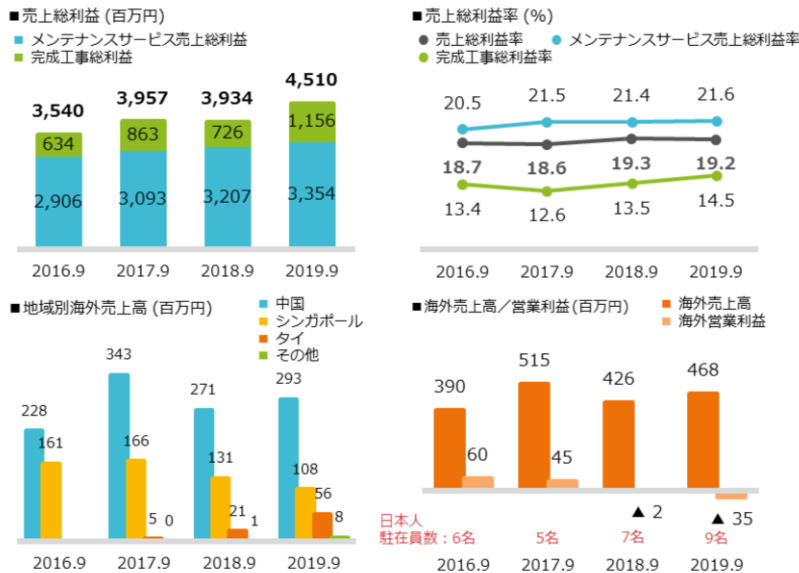
診ているのは、見えない空気です。

Ⅱ. 連結業績ハイライト

受託施設別年間契約売上高とメンテナンス、工事の内訳でございます。
工事が非常に大きく伸びています。
工事はメンテナンスと違いまして、一過性のものがございますので
来期以降の動向が業績に影響を与えると考えられます。

Ⅱ. 連結業績ハイライト 5/7

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.



※地域別海外売上高の「その他」とはバングラデシュ、マレーシア、ベトナム、ミャンマーを指しています。

診ているのは、見えない空気です。

17

- 売上総利益について
- ①メンテナンスサービス売上総利益率は安定的に推移
 - ②完成工事総利益率の改善により、メンテナンスサービスと比較して利益率の低いリニューアル工事が増加したものの、全体の売上総利益率は維持
- 海外業績について
- ①中国は順調に推移
 - ②シンガポールは様々な環境変化により苦戦
 - ③タイは省エネ等付加価値の高い提案に対するニーズが高まり着実に増加
 - ④その他地域は現在種蒔きの段階
 - ⑤日本人駐在員の人件費等により営業利益は赤字拡大だが、今後の更なる顧客拡大により収益化を目指す

Ⅱ. 連結業績ハイライト

売上総利益につきましては、安定的に推移しております。

海外の業績につきましては、

中国・・・順調

シンガポール・・・環境の変化で若干苦戦

タイ・・・省エネ等付加価値の高い提案をすることで売上高を増やしています

マレーシア、ベトナム、ミャンマー（その他）

・・・少しずつお客様を増やして2、3年後には売上高が増えてしっかりと利益が出るようにしたいと思っています

日本人駐在員の人件費等により営業利益の赤字は拡大しておりますが、早期の収益化を目指したいと思っています。

Ⅱ. 連結業績ハイライト 6/7

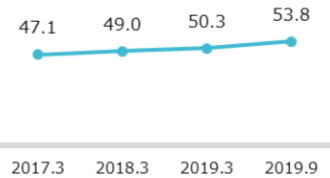
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

■財政状態

連結 (期末現在)	2019年3月期		2020年3月期2Q	
	金額	前期末比 増減率	金額	前期末比 増減率
流動資産	20,225	+6.5	19,282	▲4.7
固定資産	13,719	▲0.5	13,703	▲0.1
資産合計	33,944	+3.6	32,986	▲2.8
有利子負債	1,790	▲22.4	1,942	+8.5
その他負債	14,746	+4.4	12,957	▲12.1
負債合計	16,537	+0.6	14,900	▲9.9
純資産合計	17,407	+6.5	18,085	+3.9

(百万円、%)

■自己資本比率 (%)

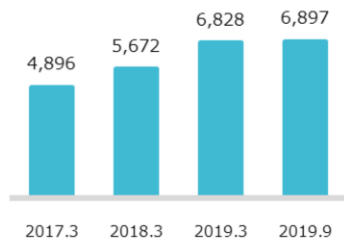


■キャッシュ・フローの状況

連結 (累計期間)	2019年3月期2Q		2020年3月期2Q	
	金額	前年同期比 増減率	金額	前年同期比 増減率
営業キャッシュ・フロー	1,314	▲31.6	682	▲48.1
投資キャッシュ・フロー	▲166	+68.7	▲254	▲52.1
財務キャッシュ・フロー	▲724	+11.8	▲356	+50.8
現金及び現金同等物の増減額	403	▲29.7	69	▲82.9
現金及び現金同等物の期首残高	5,672	+15.9	6,828	+20.4
現金及び現金同等物期末残高	6,076	+10.1	6,897	+13.5

(百万円、%)

■現金及び現金同等物期末残高 (百万円)



診ているのは、見えない空気です。

18

Ⅱ. 連結業績ハイライト

財政状態とキャッシュフローでございます。
 営業キャッシュ・フローが減少しているのは、協力会社への支払いを
 電子手形から現金へと変更したこと等によるものです。
 これも全てのステークホルダーの幸せ向上の一環であると考えており
 ます。

Ⅱ. 連結業績ハイライト 7/7

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

■経営成績

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2018年3月期			2019年3月期			2020年3月期		
	2Q 金額	4Q 金額	2Q時点 進捗率	2Q 金額	4Q 金額	2Q時点 進捗率	2Q 金額	4Q 金額(予想)	2Q時点 進捗率
売上高	21,230	45,467	46.7	20,346	46,389	43.9	23,521	48,000	49.0
メンテナンスサービス売上高	14,365	30,792	46.7	14,975	31,962	46.9	15,527	33,000	47.1
リニューアル工事完成工事高	6,865	14,675	46.8	5,371	14,427	37.2	7,993	15,000	53.3
売上総利益	3,957	8,224	48.1	3,934	8,547	46.0	4,510	8,650	52.1
販売費及び一般管理費	2,704	5,743	47.1	2,773	5,946	46.6	2,886	6,000	48.1
営業利益	1,252	2,481	50.5	1,161	2,600	44.6	1,624	2,650	61.3
経常利益	1,309	2,579	50.8	1,234	2,725	45.3	1,705	2,750	62.0
親会社株主に帰属する当期純利益	784	1,561	50.3	804	1,792	44.9	1,077	1,750	61.6

■2020年3月期2Q進捗について【売上高、営業利益ともに前年同期比を上回る進捗率】

- ①売上高：リニューアル工事の増加及びスポットメンテナンスの増加等により前年同期比を上回る進捗率
- ②売上総利益：売上高の増加等により前年同期比を上回る進捗率
- ③販売費及び一般管理費：主に人件費の増加等により前年同期比を上回る進捗率
- ④営業利益／経常利益：売上総利益の増加等により前年同期比を上回る進捗率
- ⑤親会社株主に帰属する当期純利益：営業利益の増加等により前年同期比を上回る進捗率

■2020年3月期予想について【期首予想から変更なし】

- ①上半期にあった消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動等が想定されるものの、引き続き現場でのお客様との接点を最重要視した提案活動等による潜在的ニーズの掘り起こしに努めることで、通期予想の達成を目指す
- ②引き続き、医薬品製造施設を「新たな商品」、海外を「新たな市場」として成長させるべく注力する

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

診ているのは、見えない空気です。

19

Ⅱ.連結業績ハイライト

今期の見込みでございます。

第2四半期の利益の進捗率が60%以上となり、非常にいい数字でございます。

通期見込みについては、第3四半期以降の動向を精査していきたいと考えております。

I. 日本空調グループの概要と強み

II. 業績ハイライト

III. 2019中期5カ年経営計画

IV. 株式情報

今年の2月に新たに公表いたしました「2019中期5カ年経営計画」についてご説明いたします。

2016中期3カ年経営計画の結果【前中計の振り返り】

(百万円、%)

連結 (累計期間)	2016年3月期(実績)		2019年3月期(計画)		2019年3月期(実績)		
	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	達成率
売上高	42,579	100.0	48,000	100.0	46,389	100.0	96.6
メンテナンスサービス売上高	30,396	71.4	33,000	68.8	31,962	68.9	96.9
リニューアル工事完成工事高	12,183	28.6	15,000	31.2	14,427	31.1	96.2
営業利益	2,323	5.5	2,500	5.2	2,600	5.6	104.0
経常利益	2,378	5.6	2,600	5.4	2,725	5.9	104.8
親会社株主に帰属する当期純利益	918	2.2	1,600	3.3	1,792	3.9	112.1
1株当たり当期純利益	26.53	—	45.62	—	51.11	—	112.0

利益重視による
選別受注が影響**Clear!!****Clear!!**

配当性向

50% ▶ **50.9%**
(目標) (実績)オフィスビル等の
リニューアル工事
好調が影響特殊な環境を有する
施設の売上高比率
75% ▶ **71.9%**
(目標) (実績)**Clear!!**全都道府県への
拠点進出現地メンテナンス
会社の存在等により
顧客獲得に苦戦海外経常利益比率
10% ▶ **▲0.7%**
(目標) (実績)

※2011年3月期よりセグメントを単一としておりますが、ここでは種類別として表示しております。

※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。

診ているのは、見えない空気です。

21

Ⅲ.2019中期5カ年経営計画

今年の3月に終了いたしました中期3カ年経営計画（2016中期3カ年経営計画）の振り返りです。

・売上高は若干足りませんでした。が、営業利益、経常利益 及び 親会社株主に帰属する当期純利益につきましてはしっかりと目標を達成することができました。

・配当性向50%と全都道府県拠点進出は達成しましたが、特殊な環境を有する施設の売上高比率75%と海外経常利益比率10%については残念ながら未達成となりました。

長期ビジョン「全てのステークホルダーの幸せ向上」

顧客
高付加価値サービスを提供する

従業員
満足度と技術力を高める

株主
安定した還元を実施する

■ 10年後に向けて

1 特殊な環境を有する施設に対する 高品質サービスの提供及び ワンストップサービスの強化	特殊な環境を有する 施設の売上高比率 71.9% ▶ 80% 以上	4 熟練技術者の養成強化	技術力指数 19.9P ▶ 22P 以上
2 海外進出拠点の早期収益化 技術力及び提案力の強化による 新規顧客開拓の推進	海外営業利益比率 ▲1.0% ▶ 10% 以上	5 国内外での業容拡大 グローバル経営の推進	外国籍従業員数 143名 ▶ 200 名以上
3 従業員満足度向上 「採用」「働き方」「効率化」を キーワードとした各種プロジェクトの推進	従業員満足度 63.5% ▶ 80% 以上	6 営業利益及び1株当たり当期純利益の増加	EPS 51.11円 ▶ 60 円以上
		7 自己資本当期純利益率の維持	ROE 10.8% ▶ 10% 以上維持

■ 社会全体の価値向上に繋げる

E 環境	本業(メンテナンス) による環境負荷低減	S 社会	ダイバーシティの一環として 国内外での雇用創出による 社会の活性化	G ガバナンス	ガバナンスの継続的な 充実による企業価値の向上
----------------	-------------------------	----------------	---	-------------------	----------------------------

※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。

※技術力指数は当社の「技術系公的資格取得数×資格点数(当社基準)+技術系従業員数」で算出しています。

※従業員満足度は当社実施の従業員満足度調査の結果を基に算出しています。

※外国籍従業員数は当社及び海外グループ会社の外国籍の従業員数を指しています。

診ているのは、見えない空気です。

22

Ⅲ.2019中期5カ年経営計画

今年の2月に策定いたしました「2019中期5カ年経営計画」の基となる長期ビジョンでございます。

10年後に向けて

1 特殊な環境を有する施設の売上高比率	80%以上
2 海外営業利益比率	10%以上
3 従業員満足度	80%以上
4 技術力指数	22P以上
5 外国籍従業員数	200名以上
6 1株当たり当期純利益 (EPS)	60円以上
7 自己資本当期純利益率 (ROE)	10%以上維持

社会全体の価値向上に繋げる

E (環境) …当社が得意としておりますメンテナンスをしっかりとすることによって環境負荷低減に貢献していきたい。

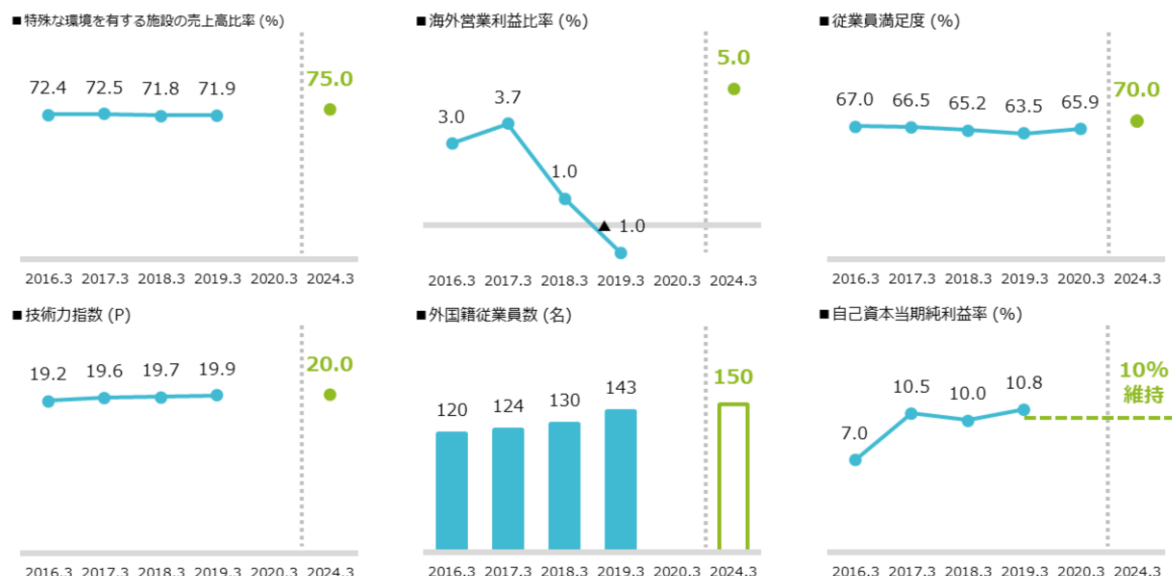
S (社会) …ダイバーシティの一環として国内外での雇用創出による社会の活性化をすることによって社会に貢献していきたい。

G (ガバナンス) …ガバナンスの継続的な充実による企業価値の向上を続けてまいります。

以上を目標として活動しております。

Ⅲ. 2019中期5カ年経営計画 3/4

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.



※特殊な環境を有する施設とは「病院及び研究施設」「製造工場等」「その他の特殊な施設」を指しています。
 ※技術力指数は当社の「技術系公的資格取得数×資格点数(当社基準)+技術系従業員数」で算出しています。
 ※従業員満足度は当社実施の従業員満足度調査の結果を基に算出しています。
 ※外国籍従業員数は当社及び海外グループ会社の外国籍の従業員数を指しています。

診ているのは、見えない空気です。

23

Ⅲ.2019中期5カ年経営計画

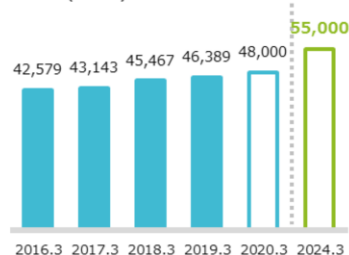
「2019中期5カ年経営計画」の数値目標です。

- 特殊な環境を有する施設の売上高比率・・・5年後に75%に
- 海外営業利益比率・・・5年後に5%に
- 従業員満足度・・・5年後に70%に
- 技術力指数・・・5年後に20Pに
- 外国籍従業員数・・・5年後に150名に
- 自己資本当期純利益率（ROE）・・・10%を維持

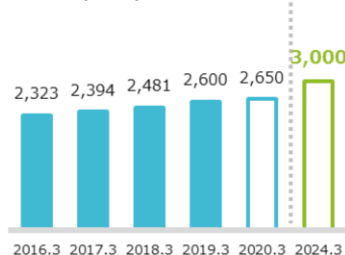
Ⅲ. 2019中期5カ年経営計画 4/4

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

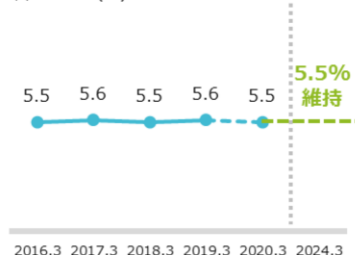
■売上高 (百万円)



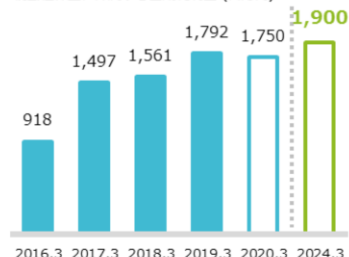
■営業利益 (百万円)



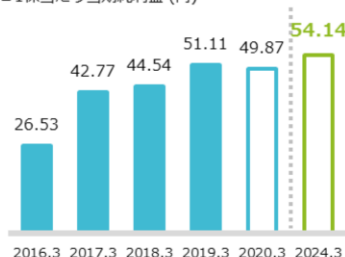
■営業利益率 (%)



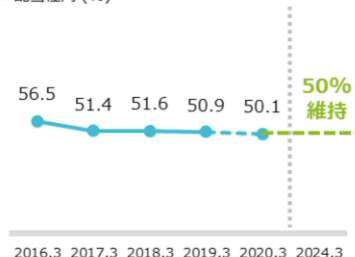
■親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



■1株当たり当期純利益 (円)



■配当性向 (%)



※2016.3以前のEPSは2014年4月1日付及び2016年4月1日付で株式分割(1:2)を実施したことによる調整をしています。

診ているのは、見えない空気です。

24

Ⅲ.2019中期5カ年経営計画

- 売上高・・・5年後に550億円に
- 営業利益・・・5年後に30億円に
- 営業利益率・・・5.5%を維持
- 親会社株主に帰属する当期純利益・・・5年後に19億円に
- 1株当たり当期純利益・・・5年後に54円に
- 配当性向・・・50%を維持

- I. 日本空調グループの概要と強み
- II. 業績ハイライト
- III. 2019中期5カ年経営計画
- IV. 株式情報

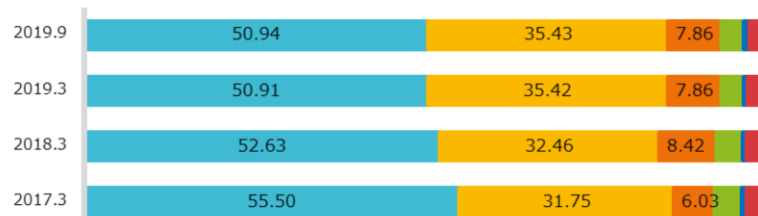
当社の株式情報でございます。

IV. 株式情報 1/2

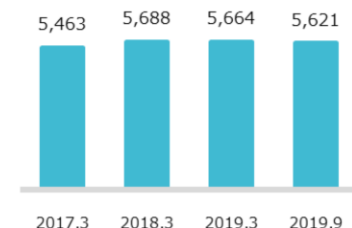
Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

■所有者別株式分布状況 (%)

個人・その他 金融機関 外国法人等
その他の法人 金融商品取引業者 自己名義株式



■株主数 (名)



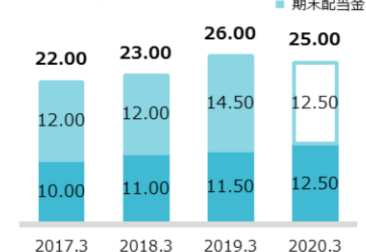
■株価 (円)

参考指標(2019年11月8日現在)

株価(終値)/時価総額	712円/249億円
配当性向/配当利回り	50.1%/3.51%
PER/PBR	14.28倍/1.46倍
最低購入代金	71,200円



■配当金 (円)



※2016.3以前の株価及び1株当たり配当金は2014年4月1日付及び2016年4月1日付で株式分割(1:2)を実施したことによる調整をしています。
※PERは2020年3月期予想値、PBRは2019年3月期末実績値を使用しております。 ※配当性向及び配当利回りは2020年3月期配当予想値を使用しております。

診ているのは、見えない空気です。

26

IV. 株式情報

今年の9月末の所有者別株式分布状況でございます。
個人株主様の株式保有割合が50%強となっております。
金融機関が少し増えていて、外国法人につきましては大きな変動はありません。

株主数につきましても安定的に5,600名程度で推移しています。

配当金につきましては、前期は吸収合併した子会社の繰越欠損金による税負担軽減があった関係で26円としましたが、今期はその影響がなくなるため25円で皆さんに配当していく計画となっております。

IV. 株式情報 2/2

Nippon Air Conditioning Services Co., Ltd.

■自己資本当期純利益率 (%)



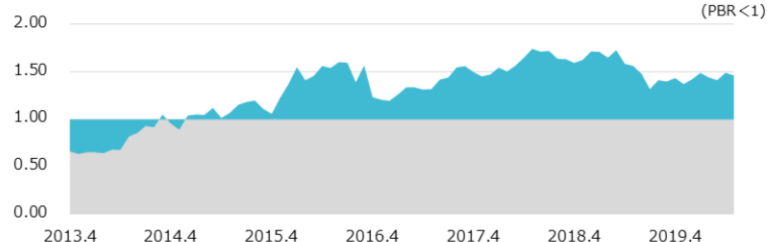
■配当性向 (%)



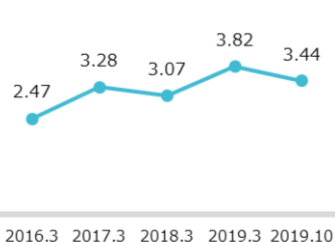
■純資産配当率 (%)



■株価純資産倍率 (倍)



■配当利回り (%)



※2019.4以降のPBRは2019年3月期実績値を使用しております。
※2019.10の配当利回りは2020年3月期配当予想値を使用しております。

診ているのは、見えない空気です。

27

IV. 株式情報

配当性向は2016年3月期から50%を維持しており、純資産配当率は5%付近を推移しております。

配当利回りについては安定的に3%台半ばで推移しております。

株価純資産倍率 (PBR) ですが、おかげさまで1倍以上の評価をいただいております、当社を評価していただいていることだと考えております。

www.nikku.co.jp

IR担当：経営企画部

TEL：052-773-2513 FAX：052-771-9790

E-mail：ir4658@nikku.co.jp

本資料は、日本空調サービス株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に記載の数値は、全て連結で表記しております。(別途、注記がある場合を除く)

本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いします。